

あおぞら



◎特集 1

話題の肺がん：奇跡的と言われる程の早期発見のために

◎特集 2

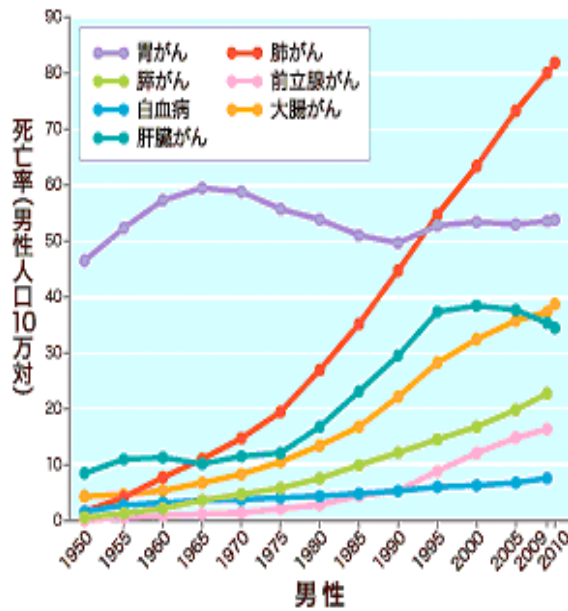
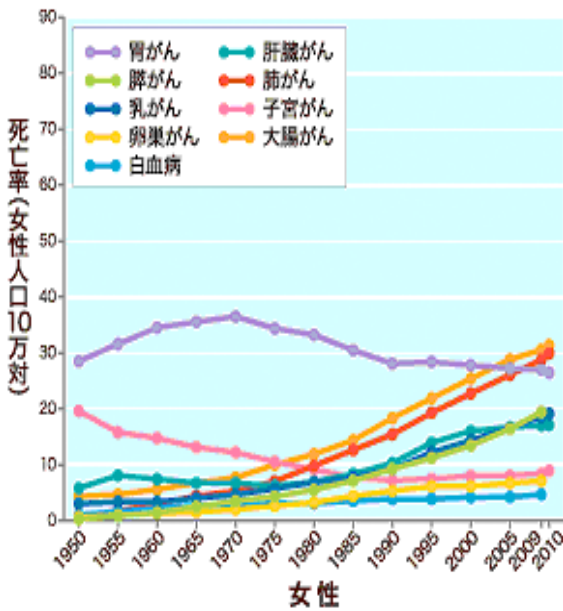
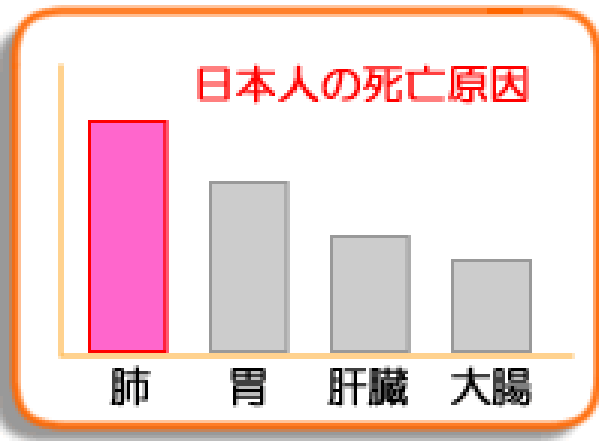
脱水症に注意しよう！

話題の肺がん：奇跡的と言われる程の早期発見のために

田園調布中央病院 院長 成瀬博昭

日本人の死因第一位は “がん” ですね。そのがんの中で最も死亡率が高い “がん” はなんでしょう？

それは 「肺がん」 です。ご存知でしたか？



男性の人口10万人当たりの肺がんによる死亡数は2000年に60人だったものが2010年には80人に急増している。これには喫煙が深く関わっています。喫煙率が年々下がっているのに、なぜ肺がんは急増しているのでしょうか？ それは、肺がんは、肺に発がん物質が蓄積することで発症リスクが高まるからです。数年の喫煙で、肺がんの発症率が上がることはなく、肺がんの発症が急激に上がるのは喫煙を始めてから20、40年後といわれています。喫煙率が「肺がんの死亡率に反映するのにはタイムラグ」があるのです。

たばこメーカーは約50年前からフィルターに穴を開けたたばこを販売し、「軽いたばこ」「タールの量が少ない」とアピールしてきた。しかし、フィルターの穴を空けることで、喫煙者は、発がん性物質や有毒物質を含んでいる煙をより奥まで吸い込むことになり、肺がん患者が増加してきている。また、受動喫煙による肺がんも、女性の肺がん死亡率も増加している。

肺がんは初期段階で感じる自覚症状がほとんどないため、発見された際にはすでに進行しているケースが多い。

しかし、**早期発見、早期治療で、治してしまいうことが可能です。**

肺がん検診をうけましょう。

肺がん検診にはレントゲン検査、喀痰検査があります。しかし、早期の小さな肺がんまで発見するのはなかなか難しいのが現状です。早期発見のためには、より小さな病変を検出することができ胸部CT検診をお勧めします。

	CT 導入前 1975 ~ 1993	CT 導入後 1993 ~ 2016
延べ受診者数	26218 人	28779 人
肺がん発見数	43 人	118 人
対10万人比	164 人	410 人
病期I期率	51.3%	83.5%
X線発見	38 人	23 人
CT 発見	-	115 人

ある『・・・から肺がんをなくす会』の報告によれば、

CT検査による検診で肺がんの発見率が上昇し、しかも治ってしまう早期肺がんの発見が増加している

初期の肺腺がんを公表したある歌舞伎俳優(44)。妻からの「40過ぎて、年も年だから、人間ドックとかで健康を管理するの事も仕事の一つ」と諭されたことで、検診を受け、早期肺がんが発見された。

『**奇跡的と言われる程の早期発見。**』

がんは**初期も初期**、

ステージは最も低いIA。

「手術すれば絶対に完治するからと言ってもらえたので。がんという響きが良くないというか、大変な病気だなと思いましたが、今は早い時期に見つかった良かったという気持ちの方が強いです」、「がんでもっと大変な方はいっぱいおられる。でも早くがんが見つければ、こんなに元気になれるんだ、というところを見せて皆さんを勇気づけられれば」。

講演では、レントゲン写真では見つけ

られない肺がんもお見せします。

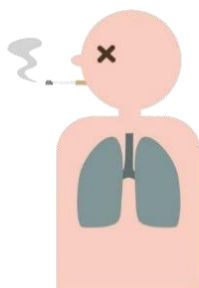
あなたも、是非とも、肺がん検診を受け

ましょう。自分のためにも家族のために

も。

禁煙外来もあります。

詳しくは、院長、成瀬外来へ。



Toda Medical Group
TMG

第50回 田園調布中央病院 地域医療公開講座
肺がんについて
～奇跡的と言われる程の早期発見のために～

平成29年**7月25日(火)** **10:00 ~ 11:00** 参加費無料 定員20名

講師
田園調布中央病院 院長
呼吸器外科専門医
成瀬 博昭

会場
野村證券 田園調布支店 ラウンジ
〒145-0071
東京都大田区田園調布2-62-3 TEL 03-5483-2011(代表)
※「メンクワイ」東急ストアエガ・アソシエイトさんの隣に
田園調布支店直連のエレベーターがございますのでご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ
☎ 03-3721-7121(代表)
田園調布中央病院 担当:総務課 中井
電話受付時間:平日 9:00 ~ 16:30 土曜日 9:00 ~ 12:00

※当日撮影した写真は、当施設ホームページを通じて掲載しますのであらかじめご了承ください

特集②



脱水症に注意しよう！

～こまめに水分補給を～

これからの季節、ニュースなどで耳にすることが多くなる脱水症。体のだるさ・めまいなどから体調を崩す方も多いのではないのでしょうか？

脱水症は、早めの予防が大切です。

① 脱水症とは？

人間の体内の水分量は成人で約60%です。体内の水分は水・ミネラル・タンパク質等で出来ています。体内の水分・ミネラルが汗等で失われることを、脱水症といいます。

② 脱水になるって？

- ・ 軽度↓めまい・立ちくらみ
- ・ 中等度↓頭痛・吐き気・体のだるさ
- ・ 重度↓意識障害・けいれん

☆軽度でも症状が出たらすぐに水分補給を行いますよう。

③ 高齢者・お子様は特に注意！

・ 体内水分量

高齢者↓50% お子様↓70%

☆高齢者↓もともと体内の水分量が少ないため、普段より多く発汗することにより、脱水状態がおきやすくなります。

☆お子様↓体内の水分量が多いですが、代謝が活発のため、大人が気付かないうちに水分を失っていることがあります。

④ 脱水症の予防ポイント

【水分を取るタイミング】

喉が渴いてないから、汗をかいてないから大丈夫と思いがちですが、喉が渴く前にこまめに水分・塩分を補給しましょう。

☆日常生活

就寝前、起床時、入浴前後、スポーツ中・スポーツ前後には必ず水分補給をしましょう。

【どんな飲料水を取るといいの？】

水分補給をする時にはミネラルも一緒に補給しましょう。

☆ミネラルとは？

ナトリウム（塩）・カルシウム・鉄分等のことです。

☆おすすめの飲み物・食べ物

スポーツドリンク・経口補水液・水・塩・麦茶・梅干しなど。

また、果物・野菜・汁物など水気を多く含む食品も脱水予防に効果的です。

【外出時には？】

通気性の良い服装で帽子か日傘を持ちましょう。

また、日陰を選んで歩くことをおすすめします。



脱水は予防できる症状です。日頃から水分補給を心掛け、夏に備えて脱水症を防ぎましょう。



発行 田園調布中央病院 広報委員会
編集 薬剤科 伊藤 看護部 中嶋